

平成17年度第6回理事会議事概要

日 時 平成17年9月30日(金) 13:00～13:40

場 所 特別会議室

出席者	理事長	大 熊 幹 章
	理事(企画・総務担当)	川 喜 多 進
	理事(森林研究担当)	桜 井 尚 武
	理事(林業・木材産業研究担当)	久 田 卓 興
	監事	真 柴 孝 司
	監事	井 上 徹 雄
	企画調整部長	石 塚 和 裕
	総務部長	周 藤 眞
	事務局(企画科長)	大 河 内 勇
	事務局(総務課長)	土 肥 史 朗

1. 開会

2. 議事

(1) 監事監査の実施について

(周藤総務部長)

<資料1：監事監査の実施についてにより説明>

監事より、資料1のとおり提出があったのでお知らせする。

(大熊理事長)

本件については、説明のあったとおり了解する。

(2) ミッションステートメントについて

(川喜多理事)

＜資料2：ミッションステートメントについて（案）により説明＞

所内の会議等で検討を進めながら、森林総合研究所の業務運営・研究運営をしていく中での旗印、心構えとして作成したものであるが、パンフレット、インターネット等で広くPRしていきたい。

内容としては、ミッション（森林総合研究所の存在意義）、ビジョン（ミッションを果たすための研究所のあるべき姿）、タスク（ミッションを実現するための具体的役割）を示したものであり、職員や外部からの意見を取り入れ、英訳についてもわかりやすくしたものとなっている。

なお、この内容については、11月1日及び11月2日の100周年記念行事の中において公表する予定である。

(井上監事)

当初の案に比べてだいぶ簡潔な内容となっているが。

(川喜多理事)

なるべく簡潔にわかりやすくという性格のものであり、英訳についても直訳ではなく、あくまでもわかりやすくという理念に基づき作成されている。

(大熊理事長)

ミッションの訳として「存在意義」としているが、この表現で良いのか。

(川喜多理事)

通常は「使命」や「役割」といったことになると思う。ここの訳についてはいろいろと議論がなされたところであるが、次期中期目標では5年間の使命が定められるほか、森林総合研究所がなぜ存在するのかといった観点から、「使命」や「役割」は使いにくいということで「存在意義」としたところである。

(久田理事)

ミッションステートメントの今後の取り扱いはどのようなになるのか。

(川喜多理事)

当所の要覧や各種報告書にも載せていくことになると思う。

また、研究評議会の場合においても懸案事項として紹介する予定である。

(大熊理事長)

本件については、説明のあったとおり了承する。

なお、本件にかかる今回の資料については、11月1日以降公表することとする。

次回の平成17年度第7回理事会は10月28日（金）を予定する。

3. 閉会